

2月11日(木・祝)「仁丹の日」を記念して

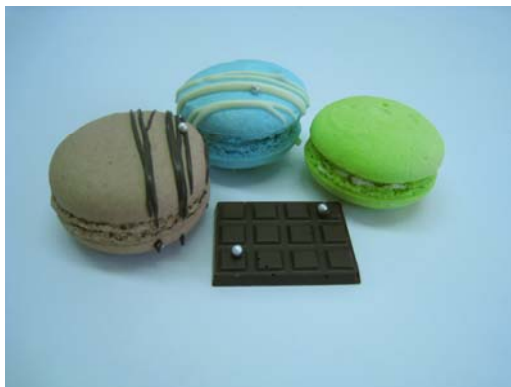
バレンタインデー用「仁丹チョコ&マカロン」

1日限定販売決定！

～TVチャンピオンのケーキ職人チャンピオンに輝く宮本雅巳氏とコラボレーション～

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:駒村純一)は、創業日であり、「仁丹」創売日でもある2月11日(木・祝)の「仁丹の日」(2008年日本記念日協会承認)を記念して、「仁丹歴史博物館2010」にて当社のロングセラー商品である「仁丹」を使ったコラボレーション商品「仁丹チョコ&マカロン」を1日限定で販売します。

「仁丹チョコ&マカロン」は、TVチャンピオンのケーキ職人チャンピオンに輝く宮本雅巳氏とのコラボレーションにより誕生しました。当社のロングセラー商品である「仁丹」を使ったシェフオリジナルのチョコとマカロンで、バレンタインデーにふさわしい商品です。今回のコラボレーションは、おなじみの「仁丹」を宮本氏の手によって、美しく、美味しいスイーツに生まれ変わらせることで、「仁丹」と「スイーツ」の新しい可能性を広げたいという思いから実現しました。当日は、シェフ宮本氏にもお越し頂き、午前11時30分より限定200個を販売します。※限定スイーツは、なくなり次第、終了とさせていただきます。



【商品内容】

商品名	仁丹チョコ&マカロン
内容量	チョコ1個・マカロン3個
予定価格	600円(税込み)

■ 宮本雅巳氏 プロフィール

大阪狭山の地で洋菓子店「コンツェルト」を創業して以来、常に新しいことへのチャレンジを追い求めるパティシエ。現在、大阪高島屋の「パティスリーMIYAMOTO」ほか、直営店3店舗を構える。第6回TVチャンピオンケーキ職人選手権チャンピオン。

※宮本雅巳氏コメント「以前から、美しいとか、おいしいだけでないスイーツを作りたいと考えてきました。森下仁丹さんとの出会いにより、身体によい、美容によいといった、他にはない機能性スイーツが現実のものになったと思っています。このコラボレーションは新しい可能性の第一歩。ぜひご賞味ください」

【本件についてのお問合せ先】

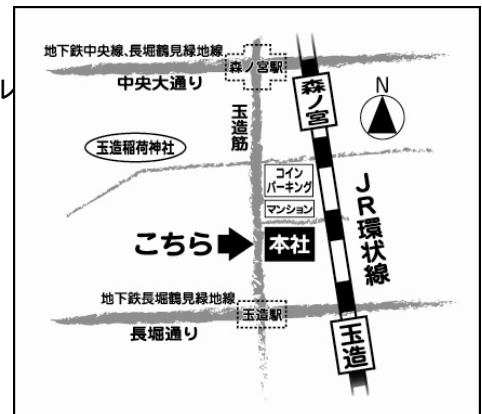
森下仁丹株式会社 営業推進部 広告・宣伝グループ 磯部・大北 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
共同PR株式会社 担当:長尾・林 TEL03-3571-5275 FAX03-3574-1005

【仁丹歴史博物館】について

「仁丹歴史博物館」とは、毎年「仁丹の日」を記念して、社内に所蔵される創売当時から現在までの仁丹ケースをはじめ、明治時代の新聞広告、販促物、当時のノベルティグッズなどを展示し、仁丹の歴史を知っていただくイベントです。今回の「仁丹歴史博物館2010」では、愛知県豊川市の「看板と広告の資料館（館長：佐溝力）」の協力をえて、40余年にも渡り収集してきた2万点におよぶホーロー看板コレクション「サミゾチカラコレクション」の中から当社社内にも保管されていない貴重な幻の仁丹ホーロー看板を展示いたします。当日は、佐溝力氏ほか、大阪の地名研究で有名なノンフィクション作家の谷川彰英氏をお迎えして、「大阪の歴史と仁丹」にまつわるトークショーも行います。さらに、ご来場いただいた方には、今春、全国発売予定のJINTAN116(新仁丹)を先着500名様に進呈いたします。

「仁丹歴史博物館2010」開催概要

- 名 称： 仁丹歴史博物館2010
- 日 時： 2010年2月11日(木・祝) 10時～16時
 - ◆佐溝力氏と谷川彰英氏トークショースケジュール
 - 1部:10:30-11:30
 - 2部:13:30-14:30
 - ◆「仁丹チョコ&マカロン」販売 11時30分～
- 場 所： 森下仁丹株式会社 本社
大阪市中央区玉造1-2-40 TEL:06-6761-1131
- 入 場 料： 無料
- 主 催： 森下仁丹株式会社
- ア ク セ ス： JR環状線「玉造駅」より徒歩約5分
地下鉄(長堀鶴見緑地線)「玉造駅」より徒歩約3分



■ 佐溝力氏のプロフィール



1946年愛知県豊橋市生まれ。

昭和50年頃からホーロー看板を集め始め、平成6年、蒲郡市立図書館にてコレクションを用いた「明治・大正・昭和時代のホーロー看板」展を開催。平成19年には、コレクションをもとにした書籍「三河の広告」を発行した他、NHK-BS番組「熱中時代」に出演するなど、ホーロー看板収集家として各方面で活躍中。豊川市に設立した「瑠璃看板研究所」では、40年に渡って収集した2万点に及ぶホーロー看板や広告資料を展示している。

■ 谷川彰英氏のプロフィール



1945年長野県生まれ。

東京教育大学教育学部、同大学院教育学研究科博士課程修了。千葉大学教育学部助教授を経て、筑波大学教授。博士(教育学)。大学院教育学研究科長(平成12.13年度)を経て、平成15年度、学校教育部長。平成16年度より国立大学法人筑波大学理事(付属学校教育局教育長)。現在は、ノンフィクション作家として活躍。専門は、教育学だが、柳田国男研究をベースに地名研究、マンガ論、食文化研究など幅広く取り組んでいる。